

平成17年
(2005)



きかい 広報

12

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No. 462



きょうは無礼講 ~ソーメンガブ~



今月の紙面

- | | | | |
|--------|---------------------------|-----|-----------------------|
| 2 ~ 3面 | 第40回島内一周駅伝 | 10面 | 教育委員会のとびら |
| 4 ~ 5面 | 町政懇談会 / 奄美群島重要生態系地域調査公開講座 | 11面 | 喜界歌壇 / お知らせ
戸籍の窓ほか |
| 6 ~ 8面 | まちの話題 / 保健師だより | 12面 | 島内一周駅伝スナップ集 |
| 9面 | 平成18年度保育所入所の申し込み | | |

第40回島内一周駅伝

湾B、鮮やかな逆転

～大会新で2年ぶりV～

Bクラス優勝は、荒木

第四十回島内一周駅伝競走大会(十五区間・三三・〇九キロ)が十一月二十日、役場前を発着点にあり、湾B(赤連・池治)が上嘉鉄A、湾AAとの激しいトップ争いを制し、一時間五十五分三十秒の新記録で二年ぶりに優勝した。湾Bは終盤十四区で上嘉鉄Aをとらえ、この日初めてトップに立つと、そのまま上嘉鉄Aに四十二秒の差をつけゴール。三位は湾AA、Bクラス優勝は六位に入った荒木だった。大会には十一校区・十三チームの百九十五人が出場。沿道の声援を受け、筋書きのないドラマを展開、秋雨の喜界路で健脚を競った。

6区、12区で新記録

レースは午後一時役場前を一齐にスタート。中盤十区まで上嘉鉄Aと湾AAが、デッドヒートを展開、八区間で湾AAが首位を走り、レースを引く張った。



しかし、ドラマは終盤に待っていた。雨と北風が次第に強くなるとレースも動いた。十一区、足のケガをお

二年ぶり優勝のテープを切る湾B・溝口選手

して走る横山健太(湾AA)を、澄田直敏(上A)がムチャカナ公園を過ぎた下り坂でとらえ、トップに立つ。湾B・山根敦介も区間賞の快走で、トップと一分以上あった差を一気に詰め、二位に浮上。戦況が大きく動いた。



選手宣誓は小野津・薫泰平くん

りの優勝を一時間五十五分三十秒の大会新記録で飾った。湾Bの岡本正一監督は「序盤、中盤の選手がつなぎ、終盤逆転の予想どおりの展開。一時は、届かないかな」と思ったが、選手があきらめずよくがんばった」と、二年ぶりの優勝をかみしめた。

湾Bは一昨年も優勝しながら、昨年は五位に沈んだ。一般六区間は多く自衛隊、教員、県職員がエントリーするため、転勤で戦力が大きく入れ替わる。来年は二人が抜けることがほぼ確実。学生は充実しているだけに、連覇の力ぎは新しい一般選手の発掘、育成にかかると、

上嘉鉄は連覇を逃した。榮

哲治監督はレース前、「湾Bとの争い」と予想。終盤は湾Bが一枚上手だったが、レース全般を通じて、二位をキープし、力を見せた。

湾Aは学生に好選手がそろったが、一般に人が続出。それでも終盤まで意地を見せた。学生は来年も期待できるだけに、八年ぶりの優勝には一般の底上げが不可欠だ。また、今年初めて二チームを編成。Bチームは最終十五区で荒木に逆転され、Bクラス優勝は逃したが、序盤四位まで順位を上げるなど、健闘した。

早町、坂嶺は共に三区間で区間賞を獲得。特に早町は終盤、十一位から五位まで順位を引き上げる粘りを見せた。

個人では、六区・積山寿久(坂嶺)、十二区・柳竜生(早町)が区間新記録を樹立。積山は中学時代から八年連続、柳は三年連続の区間賞を獲得した。そのほか、松本望(早町)、重野修平(上嘉鉄A)も三年連続の区間賞。

十三区は湾Bの隈元ゆみこが、早町・上島仁美の六年連続の区間賞を阻止し、初の区間賞を受賞、優勝に貢献した。

優勝の喜びに浸る湾Bチーム



区間記録

(新記録)

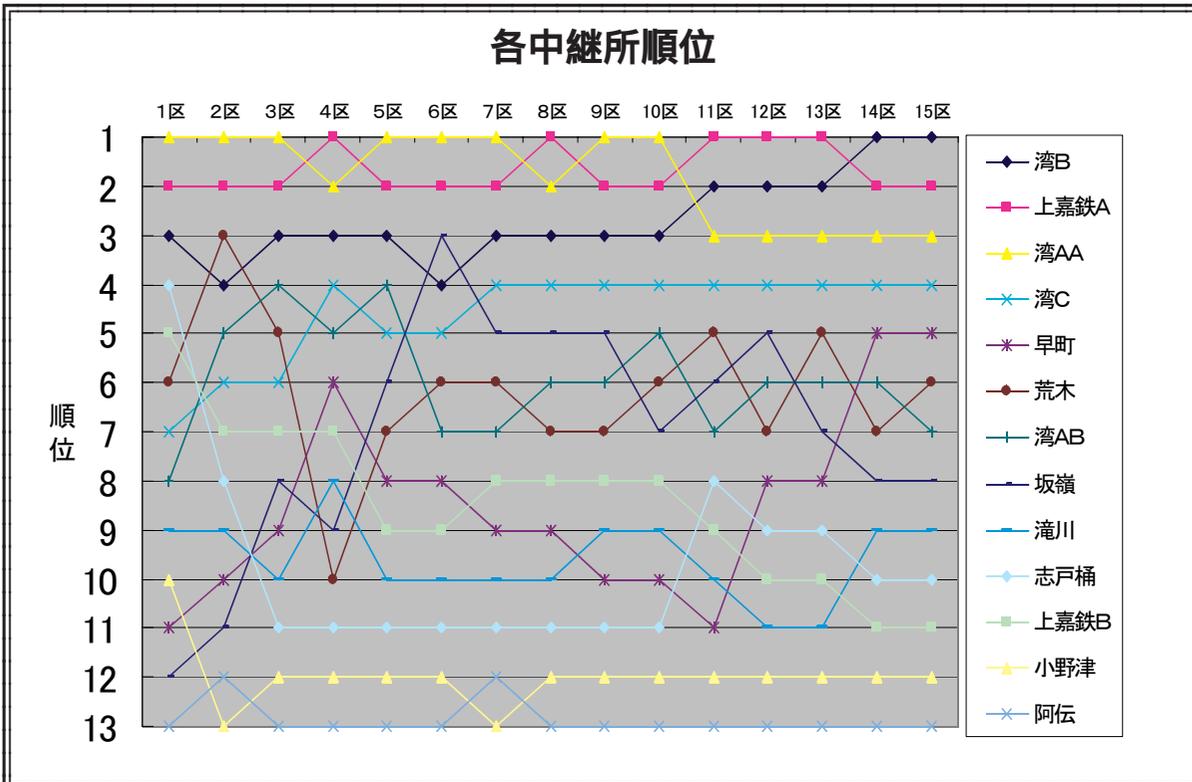
- 【1区】**小女・役場・中里**
浦口友華(湾AA) 3分27秒
生島小梅(上A) 3分33秒
園田樹子(湾B) 3分33秒
- 【2区】**中男・中里・荒木**
重野修平(上A) 8分3秒
富田和範(湾AA) 8分6秒
吉見国利(荒木) 8分12秒
- 【3区】**高女・荒木・手久津久**
上間笑菜(坂嶺) 6分9秒
友枝生和(湾AA) 6分20秒
金井あゆみ(上A) 6分25秒
- 【4区】**40歳男・手・上嘉鉄**
松本 望(早町) 6分19秒
梶原貴史(上A) 6分26秒
花房秀光(湾C) 6分45秒



Bクラス優勝は荒木・井上選手(左)

- 【5区】**中女・上嘉鉄・先山**
藤崎由実(荒木) 5分31秒
上梅美寿紀(坂嶺) 5分31秒
美代奈津実(湾AA) 5分45秒
- 【6区】**一般男・先山・阿伝**
積山寿久(坂嶺) 13分23秒
愛甲洋平(湾B) 14分25秒
野間弘也(湾C) 14分43秒
- 【7区】**中男・阿伝・嘉鈍**
生田恭平(上A) 6分52秒
富裕太郎(湾AA) 6分58秒
久野祐紀(湾C) 6分58秒
- 【8区】**高男・嘉鈍・早町**
前島将太(上A) 7分16秒
小山 誠(湾AA) 7分29秒
倉橋忠晃(志戸桶) 7分40秒
- 【9区】**中男・早町・佐手久**
安岡泰平(滝川) 9分34秒
原田大貴(湾AA) 9分40秒
賀 光哉(湾B) 9分42秒
- 【10区】**小男・佐・志戸桶**

- 【11区】**一般男・志・小野津**
山根敦介(湾B) 11分3秒
坂元博士(志戸桶) 11分8秒
澄田直敏(上A) 11分11秒
 - 【12区】**高男・小・伊砂**
柳竜生(早町) 11分2秒
前島隆太(上A) 11分11秒
萩原健太(湾B) 11分35秒
 - 【13区】**一般女・伊砂・坂嶺**
隈元ゆみこ(湾B) 3分27秒
上島仁美(早町) 3分29秒
中原優子(上A) 3分48秒
 - 【14区】**30歳男・坂嶺・赤連**
出来淳一郎(湾B) 9分46秒
牧健一郎(早町) 9分46秒
古沼寛之(湾AA) 9分53秒
 - 【15区】**45歳男・赤連・役場**
松元秀雄(湾C) 3分24秒
溝口智文(湾B) 3分38秒
井上幸一(荒木) 3分44秒
- 最終結果**
- 湾B 1時間55分30秒
 - 上嘉鉄A 1時間56分12秒
 - 湾AA 1時間56分38秒
 - 湾A 1時間58分49秒
 - 湾C 2時間0分40秒
 - 早町 2時間3分41秒
 - 荒木 2時間3分53秒
 - 湾AB 2時間3分59秒
 - 坂嶺 2時間6分37秒
 - 滝川 2時間7分0秒
 - 志戸桶 2時間7分0秒



- 上嘉鉄B 2時間9分13秒
- 小野津 2時間17分30秒
- 阿伝 2時間25分1秒
- 湾A・湾A・湾A・湾B
- 湾B 赤連・池治
- 湾B 滝川
- 湾C 中里・羽里・川嶺・山田
- 躍進賞
- 坂嶺

町政懇談会

ゴミ問題、訪問給食主題に ～ 民間委託(給食)、有料化(ゴミ)を検討～

意見を交わす町民と行政



年に一度、町民と行政が直接語り合う「町政懇談会」が、十一月九日から六日間、十五会場で行われた。今回のテーマは「今後の喜界町の福祉政策」。増え続ける粗大ゴミの問題や国、県の補助が打ち切られた訪問給食サービスについて率直に話し合った。加藤啓雄町長は「一島一町でも持続可能な方を模索している。訪問給食の民間委託やゴミの有料化も検討しなければならない」と述べ、今後の行政の考えを示し、町民の意見を聞いた。懇談会では、民間委託や有料化もやむを得ない」とする意見が大半を占めたが、「給食サービスの質を落とさないでほしい」などの要望が出た。

今年の町政懇談会は十一月九日、手久津久集落を皮切りに十五会場、六日間の日程で行われ、二百八十八人の町民が町当局と直接、意見を交わした。

懇談会では町の保健福祉課が訪問給食サービスの現状と

民間委託、住民課が粗大ゴミ置き場の現状とゴミ有料化について説明した。

訪問給食サービス

九月下旬、県の高齢者福祉説明会。担当者は突然、「十月から訪問給食サービスの補助を廃止する」と通知した。保健福祉課の担当者は「まさに寝耳に水。国や県の財政状況が厳しいとはいえ、事前の連絡もなく、説明会でいきなり補助打ち切り。地方や弱者は国や県から見捨てられる」と憤る。

平成十六年度の高齢者や身体障害者への訪問給食サービスの総費用は三千九百万円。内、国千二百万円、県六百万円、町六百万円。残りの千五百万円を受益者が負担している。現在の利用者は、百三十二

台風後の粗大ゴミ置き場



人。保健福祉課は「訪問給食サービスをやるわけにはいかない。民間委託を考えていく」と基本的考えを説明。

現在の利用者負担額は三百五十円から七百元。所得により五段階に分かれている。「利用者の負担を増やさず、また、質を落とさないよう考えたい」と担当課は説明した。

粗大ゴミとゴミ有料化

粗大ゴミ(産業廃棄物)を独自で受け入れているのは本町だけ。他の市町村は全て企業が処理している。

他市町村の対応等も参考に、「今後はゴミの有料化を実施したい。また、ゴミ袋の有料化も検討し、ゴミ減量を目指していく」考えを示した。

懇談会での主な質問・回答

【訪問給食サービス関係】

問 民間委託した場合、食事内容が変わるのか。

答 民間委託しても献立、質、量は町で基準を決め実施する。メニューも栄養士がつくる。

問 民間委託した場合、負担金はどのようになるのか。

答 民間委託しても現在の金額、質を落とさないようにする。方法、内容については今後検討していく。

問 民間委託もいいが、衛生面は大丈夫か。しっかり指導してほしい。

答 業者も保健所の許可をとっている。町としても指導していく。

問 給食のコストを下げ、町営でできないか。

答 職員雇用に必要な費用等の関係から、民間委託の方がコスト的に安い。

問 訪問給食の方向性は理解できるが、質・量が不安である。給食を受ける身になって検討してほしい。

答 質、量は契約内容とし、温かい給食が配達されるよう指導していく。

問 民間に委託した場合、逆にコストは上がるのでは？

答 全て利用者からの負担金で処理するのではなく、町も負担する。

【ゴミ関係】

問 ゴミ有料化の場合、金額はいくらぐらいになるか。

答 他市町村では、ゴミ袋一枚四十円で販売し、二十円は処理施設の費用に充てている。ゴミの量も10〜20%減っている。

問 町が（産廃）処理施設を造ることはできないか。

答 コストが高くつき、効率的でない。民間と調整していきたい。

問 ゴミを有料化すると別の状況（不法投棄）が起こらないか。モラルの向上も図らなければならぬ。

答 不法投棄は出てくるのではない。法律で罰則があるので、啓発していく。また、監視者をおくなどの措置をとりたい。学校教育の中でも検討したい。

問 新聞、雑誌はゴミとして出すのか。別途回収する考えはないか。

答 新聞、雑誌はリサイクルしたいが、輸送費が高く、現状では焼却するしかない。

問 廃材はクリーンセンターで焼却できないか。

答 材木を小さく設けなければならぬ。また、芯が堅いので焼却に時間がかかる。

問 有料化に伴い袋を大・中・小に分けてほしい。高齢者には今のゴミ袋は大きすぎる。

答 今後検討したい。

問 粗大ゴミは個人で持ち込んだ場合無料だが、今後はどうなるのか。

答 今後は重量で負担金をいただくか検討中。

問 粗大ゴミは以前のように個人で焼却できないか。

答 法律では禁止されているが、畑の雑草、落ち葉等が他の人に迷惑をかけない程度であれば、特例として焼却できる。

出席者

湾6人、赤連・池治31人、中里22人、荒木12人、手久津久21人、上嘉鉄10人、先山・浦原13人、川嶺・羽里・山田28人、城久・滝川・島中18人、大朝戸・西目22人、坂嶺・伊砂・中間・先内・中熊19人、小野津・伊実久12人、志戸桶・佐手久24人、塩道・早町・白水・喜鈍26人、阿伝・蒲生・花良治24人（合計288人）

奄美に共通する

生物、生態系の多様性

世界遺産登録の知床に学ぶ



奄美群島重要生態系地域調査公開講座

と題して講演。世界遺産委員会が最も評価した点として、海洋と陸上急いた意見の相互関係、そして海洋性、陸上性の希少種など、「生態系と生物の多様性」を挙げた。

知床は今年七月、世界遺産に登録された。知床では、カラフトマスやシロザケが海と川を行き来し、これを餌とするヒグマやシマフクロウ、オオワシ、オジロワシといった大型ほ乳類や絶滅のおそれのある猛禽類、海棲ほ乳類、海鳥など様々な生き物を育み、また北方系と南方系の動植物が混生するなど、海域と陸域の自然環境が密接に影響し合い、豊かな生態系を形づくっている。

沼群など様々な景観が凝縮され、優れた自然美を有する点が評価されたのだ。

東洋のガラパゴスと言われる奄美にも、特異な気候と隔離された環境の下、ルリカケスやオオトラツグミ・オーストンアカゲラ、アマミヤマシギ、アマミノクロウサギなど、世界的に貴重な固有動物が数多く生息する。生態系、生物の多様性という点で奄美と知床には共通性がある。

しかし、世界遺産までの道のりは長い。知床では調査開始から登録まで、十二年の歳月を費やした。登録後も海域の保護や魚類管理計画の策定など、遺産委員会から勧告を受けた課題に取り組みなければならぬ。自然との共生と保全。つまり、海域の保全と

漁業の両立、そこで生活する人々の暮らしと持続可能な保護対策の策定が求められている。知床の世界自然遺産への取り組みは、奄美の参考となりそうだ。

奄美群島重要生態系地域調査公開講座が十一月二日、中央公民館旧ホールであり、世界自然遺産に登録された知床の自然保護の取り組みや課題について、斜里町と羅臼蝶の自然保護担当者が貴重な意見を述べた。

斜里蝶環境保全課の村田良介課長は「斜里蝶の自然保護の取り組み」、羅臼町自然保護係長の田澤道広係長は「海域を含む世界自然遺産登録」

また、火山活動により形成された急峻な知床連山、山麓を覆う原生的な森林、切り立つ海岸断崖、多様な湿原・湖

TOWN まちの話題 News

赤連、団体で初優勝

第8回わんぱく相撲大会



した栄舞さん(四年生・志戸桶)が敢闘賞に輝いた。成績は次のとおり。【団体の部】優勝〓赤連A(初遊友・加藤久史・久保潤平)・2位〓荒木(朝日郁弥・大岡翔也・林田浩明)・3位〓湾A(久保廉平・長島翔・玉智哉)

第八回喜界町わんぱく相撲大会が十一月六日、小野津漁港相撲場であり、幼稚園児、小学生百五十三人が参加、熱戦を繰り広げた。

団体の部では赤連Aが荒木を下し初優勝。個人では六年生の部で久保潤平くん(赤連)が念願の初優勝、団体戦との二冠に輝き、有終の美を飾った。そのほか、朝日郁弥くん(四年・荒木)が三度目、長島翔くん(五年・湾)が三年連続、藤原龍太郎くん(二年・早町)が二年連続の個人優勝を果たした。また、女子でただ一人参加

豪華ゲストに大かつさい

〓チャリティー文化交流芸能祭り〓

恒例のチャリティー文化交流芸能祭り(奄美芸能民族保存会主催)が十一月五日夜、自然休養村管理センターであり、島唄やエイサー、社交ダンス、吟詠、太鼓、琉球舞踊など、にぎやかな演目が繰り広げられた。祭りは安田民謡教室生らによる「朝花節」で開幕。続いて森岡結さんら地元の小中学校生や、昨年の民謡民舞少年

た澤愛香さん(徳之島町)、嶺山ソノ子さんらベテラン唄者が次々と島唄を披露した。また、生駒アサエさん、盛スミさんら喜界島民謡愛好会の五人は「アブシンガー」など喜界島民謡を初披露、観客の喝采を浴びた。島外からは奄美を代表する唄者四人、築地俊造さん、森山ユリ子さん、西和美さん、



福祉に役立てて

あまの会が浄財を寄付

「福祉に役立ててほしい」と、あましん(奄美大島信用金庫・築愛三理事長)ハッピー会は十一月二日、理事長杯争奪ゴルフコンペの浄財の一部を喜界町社会福祉協議会に寄付した。同会には五百人の会員があり、十月

二十三日の大会には県内十三店舗から二百人が参加。チャリティーホールを設け浄財を募った。今回は喜界支店など三カ所に寄付。この日は、安原亮喜界支店長と松村秀一郎幹事が社協を訪れ直接、西保理介会長に手渡した。

- 川畑龍斗(荒木) 二年生〓 藤原龍太郎(早町) 岡本直道(湾) 黒田祥平(湾) 三年生〓 岩川武蔵(赤連) 富田大輝(上嘉鉄) 中園竜矢(湾) 四年生〓 朝日郁弥(荒木) 武田工(早町) 石村康輔(早町) 五年生〓 長島翔(湾) 加藤久史 西皓生(志戸桶) 六年生〓 久保潤平(赤連) 玉智哉(湾) 菊地北斗(湾)【特別賞】殊勲賞〓岡佑樹(小野津)・敢闘賞〓栄舞(志戸桶)・技能賞〓加藤久史(赤連)

わたる宴を締めくくった。築地俊造さんは、「今回初めて喜界島民謡愛好会が参加し、喜界島の唄を披露してくれた。これからも喜界島固有の唄を掘り起こし、文化を継承してほしい」と語った。同チャリティーは今回で二十六回目。昨年まで安田民謡教室が主催していたが、若手育成と文化継承を目的に、三年前結成された奄美芸能民族保存会(安田宝英)が引き継いだ。同会青少年部会では、永志保さん、牧岡奈美さん、川畑さおりさんが活躍中。また、奄美芸能島唄研究会喜界支部(富村チカ子会長)も発達し、島唄愛好者が一体となつて島唄の普及、発展に努めている。



昇喜代子さん」が出演。哀愁ある唄声とユーモアあふれる語りで会場はおおいに盛り上がった。締めは六調。観客、舞台が一体となり、三時間に

奄美芸能保存会では今回の収益金の一部を「歳末助け合い募金」に寄付した。

伊東浩司選手に指導受ける

喜界町子どもの体力向上実践事業



後、五十坪のタイムトライアルに全員が挑戦。伊東さんは「リラックスして」「あごを引いて」「いい走りだ」など子どもたちにアドバイスしたり、励ましたりした。

喜界町子どもの体力向上実践事業「親子スポーツ教室」が十一月十二日、総合グラウンドであった。ゲストとしてバルセロナ、アトラクタ、シドニーとオリンピッククに三度出場し、陸上百坪のアジア記録十秒〇〇を持つ伊東浩司選手が来島、会場には約四百人の小中学生が訪れた。

伊東さんは、靴を大事にし、かかとを踏まない「あいさつをしつかり」など、普段の生活の心構えを説き、質問には「今はフォームを気にする必要はない。運動に親しんでほしい」などと、ひとつひとつ丁寧に答えていた。参加者はじゃんけんを取り入れたゲームで体をほぐした

木下摩耶さん(荒木小) 県教育長賞受賞



「私のアイデア貯金箱」コンクール

第三十一回「私のアイデア貯金箱」コンクールがこのほどあり、荒木小学校の木下摩耶さん(四年)が「竹のころん貯金箱」で鹿児島県教育長賞を、同小の大岡翔也くん(五年)が「こん虫採集」で郵便貯金振興会賞を受賞した。伝達式は十一月十四日、同小であり、悦田隆彦喜界郵便局長から「知恵と工夫を凝らした貯金箱をありがとう」

児童を代表して早町小学校五年の中島興志朗くんが「野球の基本は走ること。どうしたら速く走れるか分からず、あきらめかけていたとき、伊東さんの来島を知った。ここで習ったことを練習メニューに取り入れたい」と感謝の気持ちを伝えた。



と感謝の言葉と賞状、記念品が手渡された。

同コンクールは、貯金箱の作製を通じて貯蓄の意義と重要性を認識し、創造力を伸ばしてもらおうと、昭和五十年に始まった。今回は全国から一万九千三百九十校、二百

島内外から 義援金



七万点、喜界島からは八十点の応募があった。他に四人が郵便局長賞を受賞した。

郵便局長賞 俊山妃奈子(湾小三年)・木下雅(荒木小六年)・川畑奈々(滝川小五年)・平貴乃(阿伝小六年)

喜界ライオンズクラブ

「台風14号の災害復旧に役立ててほしい」と、喜界ライオンズクラブ会長の園田直樹さんと筑紫英毅さん、里俊光さんは十月十七日、役場を訪れ、加藤啓雄町長に義援金を手渡した。また、東京喜界会(森昭男会長)からも台風災害義援金が寄せられた。

加藤町長は「島内外からの義援金に感謝します。町でも多くのボランティアが協力して災害復旧に当たってくれました。被災者に代わり心から感謝申し上げます」と述べた。台風14号の高潮は、太平洋側の集落や畑に大きな被害をもたらし、被害総額は三億八百万円余りに上った。

麦(粉)と粉黒糖を混ぜフライパンで焼いたらカッパームチーの出来上がり。カッパームチーの出来上がり。カッパームチーの出来上がり。カッパームチーの出来上がり。



です(森豊良著『喜界島の方言集』より)。材料もシンプルで簡単にできるおやつです。フライパンに少し多めの油を引き、こんがり香ばしく表面にあばたを作って焼くことがおいしさのツボと聞きました。粗引きの麦の粉が入ったら、昔懐かしいの味になるかもしれません。カッパームチー

分量 麦の粉(または薄力粉)100g・粉黒糖80g・水200cc・油適宜
作り方 ボウルに麦の粉・粉黒糖・水を入れて混ぜ合わせ、生地をつくる。フライパンを熱して油を引き、生地を流して表面をこんがり焼いたら、くるくる丸める。(分量は参考までの値です。ご家庭の味に加减してお楽しみ下さい)
保健センター栄養士

団体戦は早町が制す

防犯少年
剣道大会

少年団が昨年の雪辱を果たし優勝した。

大会には湾、坂嶺、志戸桶、早町のスポーツ少年団三十五人が参加。保護者らの大声援を受け、ちびっこ剣士が熱戦を繰り広げた。大会終了後には、指導員による合同練習を行い、基本の大切さを学んだ。



地元をおさえ早町V

早町校区親睦壮年ソフトボール大会

恒例の早町校区親睦壮年ソフトボール大会が十月三十日、小野津漁村公園であり、早町が地元・前金久を抑え優

【団体戦】優勝〓早町・準優勝〓志戸桶・三位〓湾・坂嶺
【個人戦】 小学高学年男子 若松雄 撰靖志 乾大介・佐藤剛志 小学低学年男子 石村康輔 武田工 体岡明日翔 岩切孝平 小学高学年女子 平貴乃 加島成子 松山未喜 小学低学年女子 吉岡未来 平妃華莉 藤原優花・向井結子

航路標識業務協力者 3人に感謝状



管区海上保安本部から、米盛弘幸さん(早町)に名瀬海上保安部長から感謝状が送られ、十一月四日、町長室で伝達された。菅沼、碓山両氏は十五年、米盛さんは十年、灯台や導灯を監視。海上交通

灯台記念日(十一月一日)にあたり長年、航路標識業務に多大の協力があつたとして、菅沼謙司さん(志戸桶)、碓山長厚さん(赤連)に第十

の安全に努めてきた



早町校区親睦壮年ソフトボール大会が参加。参加者確保のため、今年から出場年齢を三十歳以上に引き下げて開催した。大会は珍プレーの続出で笑い声の絶えない試合が続いたが、決勝に近づくにつれ好プレーも見られ、敵味方なく拍手が上がっていた。

保健師だより

十八年四月、介護保険法が改正されます。町の事業の進め方については、各集落で説明会をしたいと思います。ぜひご参加ください。

喜界町では、施設入所を希望しても定員が限られているため、在宅で介護を続けるか、島外の施設に入所せざるを得ないのが現状です。

在宅介護は、各家庭によって事情が違います。長年の生活の積み重ねが、介護にも影響しますので、一般の常識では判断できないきびしい現実もあります。

個人的なことになりませんが、在宅で六年間介護した「おじさん」が先日なくなりました。介護を体験して感じたことは、在宅介護の中には、こんなことまでしてしまうのかという「冷たい自分」を認めざるを得ない現実があるということです。仕事として介護するの

介護は一人一人の問題

と、家族を介護するのでは根本的な違いがあるような気がしました。他人には笑顔でできることが、家族に対しては笑顔になれないことが不思議で、悲しいことでもありました。どうか最後まで介護できないのは、急な頼みごとを快く引き受け、仕事を優先させてくれる家族がいたこと

愚痴や失敗を笑い話として聞き流してくれる職場の仲間がいたこと おじさんが笑顔になれるデイサービスやショートステイ、訪問看護、ヘルパーさんたち専門家の支援

そして、「家がいいよ」というおじさんの笑顔です。障害があっても強く生きてきた精神的な強さに甘えて、おじさんに安心して八つ当たりすることができたこと 私の救いでした。「笑顔」と「にらみ返してくる強い目」の両方にいろんな事を教えてもらいました。介護は、町民一人一人の大きな問題となってきたと思います。説明会では、あなたの意見も聞かせてください。

平成18年度 保育所入所の申し込み

【受付期間】 平成18年1月10日（火）～2月10日（金）

【申込用紙】 第一保育所、第三保育所、保健福祉課にあります。

【提出先】 第一保育所

【申込要件】 両親が次のいずれかの事情にある場合であって、かつ同居の親族その他の者が児童を保育できない場合。

昼間に家庭外で労働することを常態としていること。

昼間に家庭内で児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。

死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。

母親が出産の前後、病気、負傷、心身に障害がある場合。

家庭に長期にわたる病人や心身の障害のある人があり、親がいつもその看護にあっている場合。

火災、風水害、地震などにより家を失ったり破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

【保育所紹介】

保育所名	喜界町立第一保育所	喜界町立第三保育所
設立	昭和46年4月1日	昭和52年4月1日
所在地	鹿児島県大島郡喜界町湾1796番地	鹿児島県大島郡喜界町早町498番地
定員	90名	30名
該当年齢	1歳～小学校就学前の児童	1歳半～3歳の児童
クラス	5クラス	2クラス
職員構成	所長、主任、保育士、栄養士、調理員	所長、保育士、調理員
開所日	年度末から年度始めに2日間を除いた日 年末12月29日～年始1月3日を除いた日 日曜日、国民の祝日及び休日を除いた日	
保育時間	午前8時30分～午後5時15分 ただし、両親、家族の就労時間に支障をきたすと認められる家庭や、緊急時に限り午前7時30分～午後5時30分まで	午前8時30分～午後5時15分 ただし、両親、家族の就労時間に支障をきたすと認められる家庭や、緊急時に限り午前8時～午後5時15分まで
保育料	保育所徴収金額表（前年度分の市町村民税、所得税課税の額の区分7階層）により決定	
保育方針	<p>子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と協力し合いながら豊かな愛情と知性と技術をもって、乳幼児の保育を行う。 地域の子育て支援として、保育に関する相談に応じ、助言など社会的役割を果たす。</p> <p>《めざす子ども像》 元気な子ども 明るい子ども 思いやりのある子ども</p> <p>《めざす子ども像》 元気な子ども 思いやりのある子ども やる気のある子ども</p>	
年間行事	<p>毎月行う行事 避難訓練（年2回総合訓練）、身体測定、誕生会 その他、主な行事 七夕、七五三、運動会、遠足、発表会、餅つき、クリスマス会、節分、ひなまつり</p>	
健康診断	内科検診（年2回）、歯科検診（年1回）、検尿、蟻虫検査（年1回）	

保育参観は保護者の都合に合わせて随時行います。

第一保育所では、子育て支援として毎週金曜日の午前中にふれあい教室を行っています。

場所は、子育て支援センター（保育所に隣接しています）

詳しくは第一保育所（TEL65-0264）へお尋ねください。

教育委員会のとびら

学力向上に意欲満々 町内各校で研究公開



坂嶺小の『ガイド学習』

定着を図るための複式学習指導はどうあればよいか』をテーマに研究公開を行いました。

一人の担任で二学年を受け持つ複式学級が多い本町では、子どもが先生役になり学習を進める『ガイド学習』を行ってまいります。坂嶺

十月から十一月にかけて喜界町内の学校では、研究授業等学力向上に関する取り組みが盛んに行われました。

坂嶺小学校研究公開

坂嶺小学校では十月二十五日、『基礎的・基本的な内容の



滝川小のチーム・ティーチング

小学校は、『ガイド学習』を子どもが学習の仕方を身に付けるチャンスと考え、表現力や思考力を自ら高める算数の授業を実践しました。

当日は町内から約五十人の先生方が参加し、坂嶺小学校の子どもたちの素晴らしいガイドぶりに感心していました。

滝川小学校研究公開

滝川小学校では十一月二十九日、『小学校段階における楽しい英語活動はどうあればよいか』のテーマで研究公開を行いました。

文部科学省は、再来年から小学校に英語活動を位置付けようとしています。滝川小学校の実践は、その先進的取

り組みとして町内外で大きく注目されました。

当日は、担任の先生とALTによるチーム・ティーチングで、楽しい英語活動の授業が行われました。

喜界町教育委員会では、子どもの学力向上を町教育行政の重点課題に掲げています。各学校では、子どもに基礎学力を付ける授業を目指して、先生方が日々努力と創意工夫を重ねています。今回紹介した二校以外にも、先生方が教科や領域ごとに部会をつくり、自主的に授業を通じた研究を進めています。ぜひ、ご家庭でも「家庭学習六〇・九〇運動」を実践し、家庭学

ご協力に感謝



高齢者と児童がゲートボールで交流＝湾小

十一月一日から七日まで「地域が育む」かこしまの教



松田教授(右)と関山助教授

大学って どんなところ？

来年度の移動講座打ち合わせに来島された鹿児島大学教育学部の松田君彦教授と関山徹助教授が十一月十一日(金)「大学ってどんな

ところ？」というテーマでポランテニア講演をしてくださいました。

当日は、小学生・中学生から喜界高校生・保護者まで約四十人ほどが参加。講演のほか、ビデオによる鹿児島大学の紹介もあり、先生方から「鹿児島大学も、県外から多くの人が受験にくる。九州の学生をライバルと認めてがんばれ」必ず大学に行きたいという信念を持つことが大切。信念を持って努力を重ねれば合格できる」など、貴重な助言をいただきました。

習の習慣が定着するようご指導ください。

地域が育む「かこしまの教育」週間

今回も、町内の各幼稚園・小学校・中学校に延べ四千人以上の地域の方が来校してくださいました。

各学校では、学習発表会や文化祭、給食試食会、高齢者とのふれあい活動などの行事で皆様をお迎えしたところで、参観された方からは、児童一人一人の個性が生かされた素晴らしい発表会

かされた素晴らしい発表会

でした。心洗われる一日でした。子どもたちがすれ違う時に元氣よくあいさつをしてくれて大変気持ちよかったです

子どもたちの授業の様子を参観しましたが、元氣があつて生き生きとした学習態度に好感がもてました。花もたくさん咲き、環境が美しく整えられていました。等のご意見を頂きました。皆さんのご意見や感想を生かして、さらなる学校教育の充実に努めてまいります。

喜界歌壇

しんしんと雪降る夜はなつか
しき人の声する吾を包みて

北島 シナ

故里の島遊びのため帰省せし
人々多く八月踊も尽きず

有村 道子

猛暑過ぎ一面青き秋空の雲を
眺めつバスを待ち居る

竹田ヨシ子

秋の雲片寄りながら流れゆく
見え隠れする月を見て居り

平尾 チヨ

雑草のはびこる庭に胸痛む思
いはあれどままならぬ身よ

屋良ミノ子

毎日をリハビリの吾ひとつ成
しひと日生きたと秋雲仰ぐ

美代 イシ

秋深き茜の空に雲ちぎれ特攻
散華の御霊偲ばる

郡 市子

海遥か彼方の山の一面を夕映
え包み島は暮れゆく

弥島 幸子

秋の雲群れて離れて流れゆき
空に刷かれし絹雲なびく

林 蓮香

紅萩のしだるる下枝くぐりぬ
け空見上ぐれば秋の雲浮く

嶺倉 祝子

久々に訪い来し友に「秋だか
ら紅茶がいいね」とカップ温
める

武田 幸子

お知らせ

名瀬保健所から

「パーキンソン病について」
講師「笠利町国民健康保険診
療所所長・有銘 工 医師
平成18年1月18日(水)午後
2時30分～午後4時30分
大島支庁4階会議室
問い合わせ先
名瀬保健所

訪問給食サービス事業 委託業者募集説明会

訪問給食事業(配食サービ
ス)は、平成18年度から民間
委託を予定しております。
つきましては、説明会を平
成18年1月18日(水)午後1時30
分から、役場会議室において
開催します。受託を希望する
業者は、ご出席ください。
お問い合わせは、役場保健
福祉課高齢者福祉係まで。

喜界土地改良区から

土地改良施設(スプリンク
ラー・給水栓等)は、農家の
皆さんの財産です。
今期のサトソウキビ刈り取
りが始まりますが、大型機械
(ハーベスタ)による刈り取
り・運搬・耕耘等の作業中に
接触および折損事故がないよ
うに十分注意して作業を行っ
てください。

戸籍の窓

11月届出

こんにちは
赤ちゃん

氏名	保護者	住所
和田 乙葉	豊一	湾
榎 光希	光	上嘉鉄
竹内 翔太郎	浩二	湾
豊島 良太	正美	赤連



いつまでも
お幸せに

ごめい福を
お祈りします

柳 聖蘭	卓也	荒木
保崎 聖斗	光一	湾
佐手久	有馬八十輝	62才
中里 規子	本田 久	54才
中里 有馬八十輝	佐手久	62才
佐手久	豊田 國	84才
湾	幸得 マツ	82才
上嘉鉄	幸得 マツ	82才
手久津久	前泊 スエ	100才
白水	初瀬 一美	88才
荒木 福本	タケ	99才
荒木 久保	輝明	82才
小野津 磨	サツ	72才
赤連 得本	松江	84才
坂嶺 体岡	英吉	82才
湾	カメ	94才
白水 勇	敏治	77才
中里 植村	悦雄	78才
赤連 山口	文夫	72才
中里 壽梅之助		79才

社協だより

香典返し

中里 本田 一久

……喜界町の推計人口……

(平成17年11月30日現在)

世帯数.....3 810戸 (- 2)
 人口.....8 522人 (- 2)
 男3 976人 (0)
 女4 546人 (- 2)
 —— () は前月比 ——

岩下 晶子
 喜界28年生同期会
 奄美文化芸能保存会
 会長 築 愛三

あましんハッピー会

寄付金

小野津 湾

赤連 湾

坂嶺 湾

荒木 湾

上嘉鉄 湾

白水 湾

中里 湾

先内 湾

上嘉鉄 湾

佐手久 湾

有馬 湾

豊田 湾

国昭 湾

マツ 湾



好スタートをきった4チーム



11区、澄田(上A)が横山(湾AA)をとらえる

旭(荒木・左)と富(上B)。
4区互いに必死の走り。



華の2区、トップを走るのは湾A A 富田

雨が降ろうが...

(早町・右)
4区今年も区間賞の松本



地元でトップに入る上嘉鉄A・梶原



共に区間賞。タスキは上栢から積山へ(坂嶺)



14区 = 逃げる上嘉鉄A、迫る湾B



4区 = 走りは健在、湾C花房。順位を2つ上げる



疲労困ぱい。雨の中のゴール(小野津)



タスキは2区から3区へ。力走する志戸桶

第2中継所 = 順位を1つ上げた阿伝



14区 = 逆転へタスキは隈元から出来へ(湾B)



4区 = 富田(滝川)力走。順位を2つ上げる